

Ⅲ—①地域に開く生涯学習の場

小学校

瀬戸芸のおてっ隊に参加～地域にとけ込む附属PTA～

瀬戸内芸術祭（春開催）会場の一つだった坂出市の沙弥島には7万2千人が訪れ、集客数が直島に次ぎ第2位だったそうです。沙弥島を訪れた人たちに、お茶を接待しようと、坂出市連合PTAの中に、本学園のPTAも入り、学園のたくさんの子供たちが市内の子供たちとともにお接待を行いました。直接、お茶を出すお接待はもちろんのこと、事前に茶器をつくったり、万葉風の衣装を染めたりと普段経験できないことを体験しました。

「緊張したけど、お客様がおいしいとってくれてうれしかった」「自分がつくった茶器が多くの人に楽しんでもらってよかった」「お母さんや他の学校の友達と一緒にできて楽しかった」「沙弥島や坂出市がますます好きになった。たくさんの人に来てもらいたい」などと、郷土や人とのつながりを大切に思う心が芽生えています。

地域を持たない附属型コミュニティスクール（人のつながりの組織化と広がり）のよい事例です。



親 和 会

みんな楽しい「春の運動会」！

5月11日（土）、附属特別支援学校では春の運動会が開催されました。附属特別支援学校には「附属坂出学園合同運動会」とは別に「春季運動会」があります。小学校1年生から高校3年生の児童生徒に加え卒業生（青年教室の皆さん）も参加します。子供たちは練習の成果を家族に披露するため一生懸命演技をしました。また今年卒業したばかりの皆さんが大勢参加し、プログラムは和気あいあいと進行していきました。保護者の皆さんは積極的に競技に参加し、白熱の真剣勝負を繰り広げ、そして最後は全員が輪になって踊りました。

片付けの時間も参加者全員が協力し、テント、椅子、万国旗、道具類の片付けをしました。今年は例年に比べてお父さん達の参加が多かった様に見受けられました。おかげでより一層後片付けが早かったのかも知れません。前日までの準備では先生方の盤石のチームワークに加え、介護等体験の学生さん達の活躍で完璧な舞台が整いました。先生方、学生の皆さんに感謝申し上げます。

児童生徒、卒業生、先生方、保護者や家族が一体となって、みんな楽しい春の一日でした。



保護者や卒業生も一緒に綱引き



みんなでおどろう